

タオパネ！シエラレオネ通信

「タオパネ！」とは、現地ティムニ語で「Join Hands!」という意味です。

第3号 (2009年1月)

作成者: 藤井 千江美



イリボヤ島の子どもたち

新しい1年・・・2009年が始まりましたが、今年も「タオパネ！シエラレオネ通信」をどうぞ宜しくお願い致します。

以前から時々耳にはしていましたが、1月に入ってからよく聞かれるようになった「シークレット・ソサエティ(秘密結社??)」・・・同僚たちから、

「〇〇村に行こうとしたら途中で遭遇したので、慌てて進路を変えた・・・」

「家の中に入りドアを閉めて見ないようにした・・・」

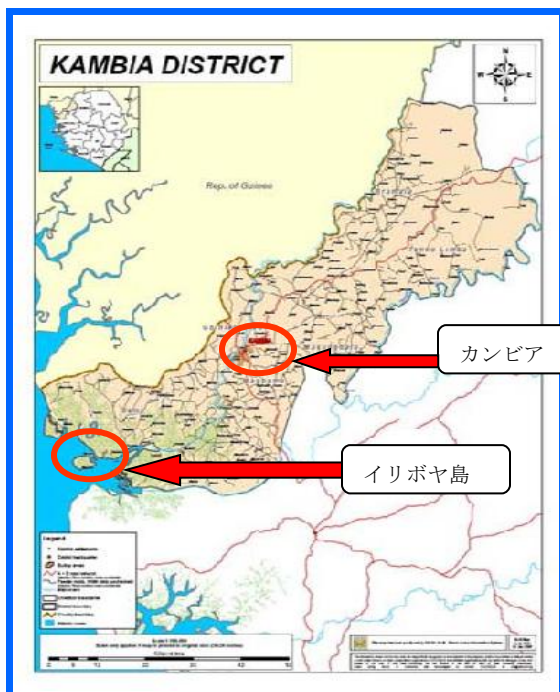
「シークレット・ソサエティが来るから早くここを立ち去ろう・・・」

私もまだ詳しくは分からないのですが、一部話を聞いたところによると、特に12月から1月にかけて多く行われ、例えば青年が大人になる儀式の一部なども含まれるようですが、それ以外にもいろいろな理由のもとで行われるようです。伝統的な衣装を着て参加者が一緒になって歩くようですが、地元の人たちにも恐れられている理由は、参加者以外の人が「シークレット・ソサエティ」を見ると、その人に呪いがふりかかるからです。

私自身非常に関心があり、是非一度遭遇してみたいと思いつつも、呪いがふりかかったら怖いなぁと思ったり・・・、シエラレオネにもこのような未知の世界がたくさんありそうですね。

今回は、11月下旬にユニセフのキャンペーンを兼ねて同僚と行きました、カンビア県でも特に僻地と言われている「リバーライン」、そして12月1日の世界エイズデーの様子をご紹介します。

大西洋に浮かぶ島「イリボヤ」・・・リバーライン地域



人口 : 約1万人
診療所 : 1軒
スタッフ : 看護師 1名
伝統的産婆 約8名



島の診療所と伝統的産婆さん

昨年11月21日から1週間、シエラレオネ全土でユニセフ主催母子対象のキャンペーンが行われました。このキャンペーンの背景には、シエラレオネの5歳未満児の乳幼児死亡率が1000人中167人、出産時の妊産婦死亡率は10万人中1300人という、世界でも乳幼児と妊産婦死亡率が最も高い国のひとつであることが挙げられます。5歳未満の子どもたちにはビタミンAサプリメントと寄生虫駆除薬、小さな子どもを持つ母親には蚊帳を配布。また、出産可能年齢の女性対象に破傷風トキソイドの予防注射が行われました。



私も同僚たちのお手伝い

カンビア県全土でも行われましたが、この時とばかりに、私は赴任してからずっと同僚たちから聞かされてきました「カンビア県の中でも特に有名な僻地・・・リバーライン」に、キャンペーンに同行して行くことにしました。カンビアの町から悪路40分、ロクプールという町から船で約3時間。リバーライン地



酋長宅前の集会場に集まった参加者たち

域に含まれる「イリボヤ島」の酋長宅に2泊泊めてもらい、1日はユニセフ主催キャンペーンのお手伝いと診療所や人々の衛生状態(3年前までは毎年コレラが発生していましたが、現在は公衆トイレの設置や衛生教育のおかげでコレラの発生はみられなくなりました)を見させてもらい、翌日は更に船とバイクを乗り継いで、近隣の村(ロカイ)の診療所にも行ってきました。イリボヤの診療所は、現在男性看護師さんが1人いるだけで、写真にあるようなひどい診療所の上、更に僻地の島ということで、看護師さんがなかなか行きたがらないようです。ロカイの診療所は、コミュニティの人々による手作り診療所ですが、コミュニティの人々の気持ちを感じられ、またなかなか快適で清潔感がありました。酋長ご夫妻、島の人々と子どもたち、そして一緒に行った同僚たちの暖かい心遣いに触れ、ますますカンビア県が好きになり、これからも少しでも良い保健サービスが提供できるお手伝いできれば・・・と更に強く思う3日間になりました。



リバーライン地域に向かう船からの眺め



コレラ撲滅に向けて設置された島の公衆トイレ



コミュニティの手作り、ロカイ診療所



ロカイ診療所内部



ロカイ診療所への道中の村

カンビア県の12月1日、世界エイズデーの様子

<カンビア県の HIV/AIDS の現状 2007 年度>

*カンビア県人口:約 30 万人

*HIV 感染率:1.5%(シエラレオネ全土では 1.53%)

*HIV のテスト(VCT)を受けた人数: 1,797 人で 130 人がポジティブ

*母子感染予防対策(PMTCT)を受けた人 : 3,344 人中、27 人がポジティブ

*エイズ発症を抑える抗レトロウイルス薬 (ARV) 服用者数: 現在76人が治療中

因みに、シエラレオネの HIV 感染率は非常に低いデータですが、これはまだまだ VCT が普及しておらずテストを受けている人数が少ないためだと考えられます。というのは、かなり性感染症 (STD) の患者数は多いのです。



HIV/AIDS 予防メッセージと共にカンビアの町を行進



事務所が入る県病院敷地内で、同僚や保健関係者たちから、HIV/AIDS に関する話と質疑応答

今月の新発見



アリの行列のアップ



延々と続くアリの行列

残念ながら写真が小さくてよく分かりませんが、鎧兜を着たような大きなアリが列の両サイドをかため、その中を一生懸命に小さな働きアリが移動。一匹でも働きアリが列からはみ出ると、この鎧兜アリが追いかけて列に戻っていました。列がどれ位続いているのか追ってみました、とにかく延々…という感じで途中で断念。因みに、この鎧兜アリに咬まれた時は、皮膚の刺し口に角の部分が入り込み、強烈な痛みが走り、なかなか引き離すことができませんでした…。毒は持っていないようですので良かったです。見とれるのも程々にしないと駄目ですね。(苦笑)

次号の予定

2月28日(土)、プロジェクト活動の一環として、「カンビア・ヘルス・デイ Kambia Health Day」開催を予定しています。保健関係者はもちろん、一般の方たちにも広く参加してもらえるようなイベントにしよう！と、現在、同僚たちと、どのような催しを行おうか…と案を練っています。次号では、この「カンビア・ヘルス・デイ Kambia Health Day」の様子、そして昨年9月から実施しています改修工事中の2軒の村の診療所がそろそろ完成予定ですので、完成した診療所も併せて、皆様にお伝えできればと思います。